

2022年度 事業報告書



社会福祉法人 嘉祥会

目 次

1. 法人本部 事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. グループホーム ぬくもりの園 事業報告書・・・・・・・・ P 7
3. デイサービス ぬくもりの園 事業報告書・・・・・・・・ P 16
4. ショートステイサービス ぬくもりの園 事業報告書・・・・・・・・ P 23
5. 居宅介護支援事業所 ぬくもりの園 事業報告書・・・・・・・・ P 30
6. ヘルパーステーション ぬくもりの園（高齢者福祉）事業報告書・・・・・・・・ P 35
7. ヘルパーステーション ぬくもりの園（障害福祉）事業報告書・・・・・・・・ P 37
8. 介護ステーション ぬくもりの園 事業報告書・・・・・・・・ P 39
9. サービス付き高齢者向け住宅 清住の杜町田 事業報告書・・・・・・・・ P 41

はじめに

2022年度も引き続き新型コロナウイルスの流行がありましたが、ワクチン接種の定着や、重症化率・病床ひっ迫率の低下により、マスクの着用義務緩和などに繋がりました。コロナ禍前の日常に戻りつつあり、希望を感じながら今春を迎えております。

本会におきましては、2022年度も数名のご利用者、職員の感染が確認されましたが、迅速な対応や他の職員並びに関係各所の協力によってクラスターにはならず、通常の営業を続けることができました。ご利用者、職員、関係者の日々の予防や自粛など、生活の中での配慮による結果と受け止めています。また、2023年5月8日より、感染症法上の区分が季節性インフルエンザ等と同じ「5類」に移行がされました。本会では引き続きご利用者・ご家族及び職員の理解をいただきながら、感染予防対策を続けつつも状況の変化に速やかに対応できるよう備えて参ります。

2022年に町田市より公表された施策計画「町田市地域ホッとプラン」（旧「町田市地域経営ビジョン 2030」と「第3次町田市地域福祉計画」の両計画の統合）内では「人と人がつながり、多様な価値を尊重し合うことで、誰もが自分の役割や活躍の機会を得られる共生社会の実現を目指す」ということをプランの目的とされています。本会では2023年度に近隣の商店街内で地域密着型通所介護（デイサービス）事業を新しく展開致します。これまでも介護ステーションとして、地域の皆様になじみの場所でサービスを提供できる為、引き続き地域の皆さまにも親しんで頂けるかと思えます。人工知能、AI関連の報道等を目にする機会の増えた現代だからこそ、インターネット上の情報だけでない、リアルな体験が見直され、人と人とのつながりがより一層大事な時代となります。そうした中で、本会は前述の市施策にも繋がる地域共生社会実現の一助を担い、近隣地域の「ハブ（Hub）」のような存在になれるよう取り組んで参ります。

日々の活動の結果として、今後もご利用者・ご家族、地域の皆様から「嘉祥会にお願いをして良かった」「相談をして良かった」「同じ地域で良かった」と仰っていただけるよう、職員からも「嘉祥会で働けて良かった」と感じてもらえるよう、運営をして参ります。

法人本部 事業報告書

(1) 役職の定義づけ、役職別研修

役職の定義づけ、リスト作成を行いました。次年度で対象職員と研修内容を決定し、実施します。法人全体のボトムアップをはかります。

(2) 防災協力と地域連携

地域の防災協力として、まずお互いの顔を知ることが大切であることから、地域自治会の開催する、地域サロンや夏祭り、公園清掃等に嘉祥会の職員も参加しました。また11月に、同じ自治会内の社会福祉法人基督教児童福祉会さん、社会福祉法人まちのひさんの地域担当者と、防災備蓄品を使用し、一緒に調理、食事をし、お互いの法人の地域担当の職員が顔見知りとなる関係づくりになりました。高齢者事業所同士、障がい者事業所同士の協力によるイベントはありますが、高齢、障がい、児童の社会福祉法人が同じ地域での協力はあまりないことで、この試みは地域タウン誌にも取り上げられました。来年度は、コロナの状況を見ながらですが、3法人と地域自治会で、防災協力のイベントの開催を考えています。

防災用の備蓄食料については年度内に賞味期限を迎えてしまう予定であった為、期限の近いものに関しては、事業所内での普段の調理やおやつ、地域で開かれている「みんなの子ども食堂」への寄付など、有効に活用することができました。また、入居系事業所のご入居者・ご利用者分の防災ヘルメットを追加で購入して完備しました。

BCP(事業継続計画)の策定については、2024年度の義務化に向けて情報収集をし、簡易的な草案にまとめました。今後は各事業所との打ち合わせを進めて初回計画を策定して参ります。

(3) 地域の資源としての法人の社会活動

地域の資源としての法人の社会活動として、隙間時間での送迎サービスを計画し、10月より、朝のデイサービスで送迎に向かう前、ご利用者が乗車していない時間にサービス付き高齢者向け住宅「清住の杜町田」のご利用者を対象としてサービスをアナウンスしましたが、なかなかご利用希望の方がいらっしゃいませんでしたので、来年度には新たな地域資源としての法人の社会活動を計画していきます。

2022年度 地域交流 地域貢献活動など、地域の皆様との交流

活動内容	開催日	開催場所
こども110番の家	通年	グループホームぬくもりの園 サービス付き高齢者向け住宅 清住の杜町田
みんなのトイレ登録	通年	ショートステイぬくもりの園
きんじょの本棚	通年	サービス付き高齢者向け住宅 清住の杜町田 ぬくもりの園（11月～）
地域の障がい施設ご利用者の服の 繕い物	随時	グループホーム
赤い羽根共同募金	10月1日～ 12月31日	ぬくもりの園 清住の杜町田 介護ステーション
みんなの子ども食堂さくらんぼう	4月 8日	ほっとスペースさくらさくら
陽だまりカフェ説明会	4月10日	陽だまりカフェ
地域の農家さんとジャガイモ植え	4月13日	ぬくもりの園近隣畑
みんなの憩いの場開所式	5月 1日	みんなの憩いの場地域交流スペース
紙飛行機を作って飛ばそう	5月 5日	小山田桜台集会所下ピロティ
ふれあいサロン清住 お笑いビデオ鑑賞会	5月16日	清住の杜町田地域交流室
農業×福祉×地域を考える 意見交換会	5月17日	清住の杜町田地域交流室
みんなの子ども食堂さくらんぼう	5月28日	ほっとスペースさくらさくら
みんなの子ども食堂さくらんぼう	6月10日	ほっとスペースさくらさくら
ふれあいサロン清住 ウクレレを聴こう	6月27日	清住の杜町田地域交流室
地域の子供達と七夕飾り	7月 7日	清住の杜町田一階サロン
みんなの子ども食堂さくらんぼう	7月 8日	ほっとスペースさくらさくら
ふれあいサロン清住 座って体操、フレイルなんて怖くない	7月11日	清住の杜町田地域交流室
清住ぐるめ部	7月12日	清住の杜町田地域交流室
地域の農家さんとそら豆の種作り	7月15日	デイサービスセンター ぬくもりの園
まちだ まんだらまつり	7月16日	光明寺東京別院
清住平自治会 座談会 「介護保険サービスの種類 訪問治療サービスを知ろう」	7月23日	清住の杜町田地域交流室
まちだくらしフェア2022「親子 で竹あかりをつくろう」	7月30日	町田市民フォーラム
見守り支援に関する研修会	8月 5日	町田市いきいき生活部高齢者福祉課 地域支援係（リモート）
みんなの子ども食堂さくらんぼう	8月 5日	ほっとスペースさくらさくら

地域の農家さんとジャガイモ堀り	8月12日	ぬくもりの園近隣畑
清住平自治会夏祭り	8月27日	山王林公園
ラン伴町田2022	9月4日	ぬくもりの園デイサービス前駐車場
みんなの子ども食堂さくらんぼう	9月9日	ほっとスペースさくらさくら
おやま観月の夕べ	9月10日	光明寺東京別院
マルイサスティナブルフェス	9月10日 11日	町田モディ
ふれあいサロン清住うたごえ喫茶	9月12日	清住の杜町田地域交流室
まちだオンラインDカフェ ファシリテーター	9月13日	オンライン
小山田まちづくり協議会	9月16日	小山田桜台商店街内 地域交流スペースよりみち広場
Banboo×アトライク	9月20日	下小山田 古民家
まちだを繋げる30人	9月20日	町田市役所
あつぎオレンジフェスタ	9月23日	アミューあつぎ
みんなの子ども食堂さくらんぼう	9月24日	ほっとスペースさくらさくら
地域防災連携イベント打ち合わせ	9月25日	バット博士記念ホーム
あつぎオレンジフェスタ	10月5日	アミューあつぎ
まちだオンラインDカフェ ファシリテーター	10月7日	オンライン
Dブックス展示開始	10月10日	無印良品小田急町田店
清住平自治会 スタンドパイプ・初期消火訓練	10月15日	山王林公園
町田市100人カイギ vol.13	10月15日	オンライン
小山田まちづくり協議会	10月21日	小山田桜台商店街内、地域交流スペースよりみち広場
みんなの子ども食堂さくらんぼう	10月22日	ほっとスペースさくらさくら
小山田桜台商店街ハロウィン祭り	10月29日 30日	小山田桜台商店街
オンラインDカフェ ファシリテーター	11月2日	オンライン
学生向け まちだアイステートメント講義	11月5日	法政大学多摩キャンパス
下小山田町内会 秋の感謝祭	11月6日	小山田会館
ふれあいサロン清住 正月飾りを作ろう 第1回	11月9日	清住の杜町田地域交流室
アクティブ福祉 in 町田22	11月9日	町田市文化交流センター
竹灯籠に防腐剤塗布作業	11月10日	ぬくもりの園中庭
きんじょの本棚まつり ～どんぐりのおと～	11月12日	野津田薬師堂
テントサウナ in 大谷里山農園	11月12日	大谷里山農園
竹灯籠の展示	11月17日	スターバックス町田パリオ店
小山田まちづくり協議会	11月18日	小山田桜台商店街

		よりみち広場
秋楽祭	11月20日	相武台団地
地域防災連携イベント（食事作り）	11月22日	清住の杜町田地域交流室
D ブックス販売会	11月23日	無印良品小田急町田店
バット博士記念ホーム園遊会	11月23日	バット博士記念ホーム
夢 collection まちだファッションショー	11月26日	町田市役所
竹灯籠のクリスマス展示～ 12月25日	11月27日	町田小田急百貨店9階レストラン街 中庭
地域ケア推進会議 「コロナ禍にいける最新の消費者 被害手口と対処方法」	11月28日	ふれあい桜館
出張相談会	11月29日	小山田桜台商店街 よりみち広場
クリスマスイルミネーション点灯 式	11月30日	バット博士記念ホーム
青山学院大学シビックエンゲージ メントセンター（ボランティアサー クル）のメンバーミーティング	11月30日	青山学院大学相模原キャンパス
まちだを繋げる 30人	12月2日	町田市役所
ふれあいサロン清住 正月飾りを作ろう 第2回	12月6日	清住の杜町田地域交流室
オンラインD カフェ	12月9日	オンライン
清住平自治会 公園清掃 焼き芋大会	12月10日	山王林公園
キャラバンメイト連絡会	12月20日	オンライン
アロマクラフト ワークショップ	12月22日	介護ステーションぬくもりの園
みんなの子ども食堂さくらんぼう	1月28日	ほっとスペースさくらさくら
みんなの子ども食堂さくらんぼう	12月24日	ほっとスペースさくらさくら
CHRISTMAS EVENT 2022・12・25 SUN.	12月25日	忠生市民センター 多目的室 A
まちだをつなげる30人	1月13日	町田市役所
清住平自治会 公園清掃	1月14日	山王林公園
小山田桜台商店街 新年会 ワークショップ竹あかりを作ろう	1月14日 15日	小山田桜台商店街
オンラインD カフェ	1月19日	オンライン
認知症サポーター養成講座	1月24日	(株)KSP 関内支社
みんなの子ども食堂さくらんぼう	1月28日	ほっとスペースさくらさくら
地域の「あったらいいな」を考える ワークショップ	1月29日	町田市役所
ふれあいサロン清住 「落語で初笑い」	1月31日	清住の杜町田地域交流室
出張相談会	1月31日	忠生第1高齢者支援センター

まちだをつなげる30人	2月3日 17日	町田市役所
相武台商店街 おさかな市	2月4日	相武台団地商店街
ビートレスがやってくる	2月11日	キッチンスタディ
ふれあいサロン清住「歌声喫茶」	2月21日	清住の杜町田地域交流室
みんなの子ども食堂さくらんぼう	2月24日	ほっとスペースさくらさくら
相武台まちの保健室	2月25日	相武台商店街
認知症カフェさがつぱと TeaTime	2月25日	相模女子大学
ゼルビー君が来る！	2月27日	ぬくもりの園、清住の杜町田
オンラインDカフェ	2月27日	オンライン
2023年 小山田子どもマラソン大会	3月5日	町田市立 小山田中学校校庭
相武台団地商店会主催防災フェス	3月11日	相武台商店街
ふれあいサロン清住「子育てサロン」	3月14日	清住の杜町田地域交流室
オンラインDカフェ	3月14日	オンライン
みんなの子ども食堂さくらんぼう	3月14日	ほっとスペースさくらさくら
忠生第1地域ケア会議	3月27日	オンライン
小山田桜台で出張相談会	3月28日	よりみち広場・Cherish
地域の農家さんとジャガイモの植え	3月31日	ぬくもりの園近隣畑

・毎年、ぬくもりの園で登録している、子供110番の家を、今年度より、サービス付き高齢者向け住宅清住の杜町田でも登録しました。

・コロナ禍であることから、オンラインの地域活動も増えてきました。

・地域の子ども食堂の返礼品や、地域の音楽教室のクリスマスコンサートの景品、きんじよの本棚にグループホームご入居者の作られた、箸入れやポチ袋を出品しました。

・9月、嘉祥会の防災備蓄品の入れ替えに伴い、缶詰のパンやアルファ米を子ども食堂に寄付しました

・9月4日、ぬくもりの園デイサービスの前の駐車場がラン伴町田の休憩場となった際、グループホームのご入居者がランナーにお茶を提供したり、スターバックスコーヒー町田パリオ店に展示する、認知症啓蒙活動の竹灯籠に防腐剤を塗布する作業をご入居者が行う等、グループホームご入居者が、地域の認知症啓蒙活動に参加しました。

・11月22日、嘉祥会と同じ自治会の、社会福祉法人基督教児童福祉会、社会福祉法人まちのひとの災害時の法人同士の地域連携として、賞味期限の近い防災備蓄食材、地域の小学校生徒が育てた野菜を使用してお互いの地域担当職員の顔が見える関係づくりに一緒に調理しました。調理した鯖缶の味噌汁はサービス付き高齢者向け住宅、清住の杜町田のご入居者のお昼にも提供しました。

・D カフェ、認知症サポーター研修の講師として、嘉祥会のスタッフが、町田市の認知症啓蒙活動に継続的に参加しました。

・嘉祥会が、町田市のプロサッカーチーム「FC 町田ゼルビア」のゼルビアアシストになり、2月27日、ぬくもりの園、清住の杜町田に、FC町田ゼルビアのマスコットキャラクター、ゼルビー君が来園し、ご利用者も楽しく交流しました。

・コロナも徐々に落ち着きつつあることから、小山田桜台商店街の活性化活動として、10月のハロウィン、1月の新年会と商店街で開催するお祭りに、介護ステーションとして、打ち合わせの段階からスタッフが参加し、商店街の一員としての関係を築いていきました。それにより、介護ステーションを、新規デイサービス、Cherish として開設する際は、商店街の皆様も快く受け入れてくださいました。

高齢者グループホームぬくもりの園 事業報告書

(認知症対応型共同生活介護・共用型認知症対応型通所介護)

1. 重点目標

(1) グループホーム

ア. クラブ活動により充実した日々を送る

定期的にクラブ活動を開催することで1階2階の行き来が盛んになり、ご入居者同士の交流が深まりました。

物づくりクラブでは、季節に合った小物づくり、お菓子作りを頻繁に行い、お菓子は、おやつ時間に堪能しました。

運動クラブでは、風船バレー大会・ボッチャ大会を定期的に開催し良い汗をかきました。また、天気の良い日に玄関先にイスを出して、タオル体操を行い、気分転換を図りました。

歌クラブでは、1階2階合同で中庭で歌うことで、青空の下、思い切り歌うことを楽しみました。



お菓子作り



風船バレー



外での体操



歌の会

イ. ぬくもり体操の実施

ぬくもり体操を日々実施することで、ご入居者の体力の維持を図りました。職員が前に立って、体操を提供することで、ご入居者一人ひとりの表情を見て、やる気を引き出しながら実施しました。また、月に1回、体力測定を実施することで、ご入居者一人ひとりの体力レベルの把握に努めました。



ぬくもり体操



体力測定

(2) 共用型認知症対応型通所介護

ア. 新規利用者の確保

定期的に作成しているグループホーム便りに共用型デイサービスの空き状況を載せています。ショートステイ、デイサービスの玄関ラックに設置し、ケアマネジャーからの問い合わせに対応しました。

2. 利用者定員

(1) グループホーム

要介護度

2023年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3名	4名	5名	4名	1名	17名
5月	3名	4名	7名	2名	1名	17名
6月	3名	3名	7名	2名	1名	16名
7月	5名	4名	6名	2名	—	17名
8月	5名	5名	4名	3名	1名	18名
9月	5名	3名	5名	5名	—	18名
10月	3名	3名	6名	5名	1名	18名
11月	3名	3名	6名	5名	—	17名
12月	3名	3名	6名	5名	—	17名
1月	3名	3名	5名	5名	—	16名
2月	3名	2名	6名	5名	—	16名
3月	3名	2名	6名	7名	—	18名
計	42名	39名	69名	50名	5名	205名

(2) 共用型認知症対応型通所介護

ア. 新規利用者人数

新規利用者はありませんでした。

イ. 要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均 要介護度
4月	—	1名	—	—	—	2.0
5月	—	1名	—	—	—	2.0
6月	—	1名	—	—	—	2.0
7月	—	1名	—	—	—	2.0
8月	—	1名	—	—	—	2.0
9月	—	1名	—	—	—	2.0
10月	—	1名	—	—	—	2.0

1 1月	—	1名	—	—	—	2.0
1 2月	—	1名	—	—	—	2.0
1月	—	1名	—	—	—	2.0
2月	—	1名	—	—	—	2.0
3月	—	1名	—	—	—	2.0
計	—	1 2名	—	—	—	2.0

ウ. 地域

地域	下小山田
利用者数	1名

3. サービスの内容

(1) ご入居者の生活

お一人おひとり、自由にゆったりとした時間を過ごしていただきました。また、掃除、洗濯、食事作りをご本人の生活のリズムに合わせて行い、野菜や花の苗植え、作品作り等、それぞれの方のお好きなこと、やりがいになる事を取り入れ、生活の活性化を図りました。



花屋で花を購入しているの風景



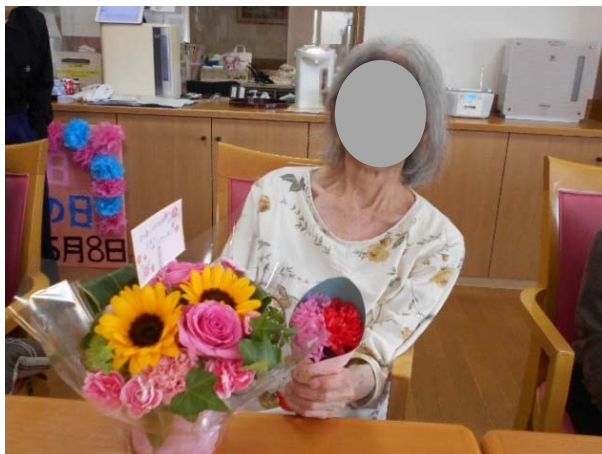
苗植えの風景

(2) ご家族との交流

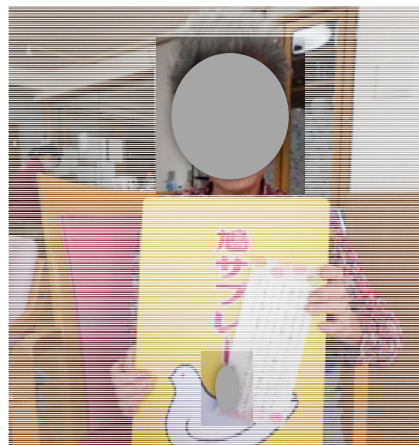
ご入居者の様子が分かるように、ご家族への手紙に写真を添えました。また、変化があったときには、随時、ご家族と連絡を取り、ご入居者の様子をお知らせしました。コロナ感染者数や蔓延防止期間等を考慮しながら感染症対策をした上で、制限を設けながら実施できるときは、面会をしました。

ご家族が母の日に花を持ってきてくださったり、手紙を送ってくださったりするこ

とで、ご家族との交流を深めました。



ご家族からの母の日の花



ご家族からのプレゼント

(3) 食事

ア. 常食以外の方は食札を作り、食事提供前に確認をして提供しました。

イ. 6月は流しそうめん、10月にはバーベキューを行ない、季節の食事イベントを味わいました。中庭の花壇に野菜の苗を植え、収穫したきゅうりやトマトをサラダなどに使用し、食卓を飾りました。また、園の畑にジャガイモを植えて収穫し、ご飯やおやつで召し上がりました。

ウ. 毎月、栄養士の献立による季節の食材を多く使った食事を提供しました。

エ. 毎月、地域で採れた季節の野菜を使用した「いきいき御膳」を提供し、健康になっていただけるように努めました。



ジャガイモの苗植え



バーベキュー

(4) 体調管理

- ア. 介護職員による朝・夕・入浴前後のバイタル測定を行い、体調管理に努めました。
- イ. 週に1度の歯科、2週間に1度の訪問診療にて、医療との連携を図りながら、体調管理に努めました。
- ウ. ケアカンファレンスを通して、ご入居者の心身の状態を把握しました。また、グループホーム内会議時に、認知症等の勉強会を行うことで、ケアの質の向上を図り、ご入居者が穏やかに過ごしていただくように努めました。

実施日	勉強会内容
6月28日	身体拘束に関する研修
9月25日	感染症および食中毒に関する研修
8月28日	PDCA サイクルに関する研修
3月5日	褥瘡に関する研修
3月5日	脱水症状・予防に関する研修

コロナの感染状況を鑑みて、ケアカンファレンスを実施しない月がありましたので、上記の勉強会となりました。

(5) 介護計画

ご本人やご家族からの聞き取りや、日々の生活内でのご入居者へ気づきをもとに、計画書の見直しを行ない、目標達成に努めました。

4. 年間行事

(1) 年間行事実施表

月	行 事	内 容
4月	お花見ツアー	数日、数回にわたり桜見物をおこないました。
6月	紫陽花見物ツアー	淵野辺公園に行き、色とりどりの紫陽花を楽しんでいただきました。
7月	七夕まつり	七夕飾りを作り、願い事を書いた短冊を笹に飾って楽しんでいただきました。
8月	大夏まつり	射的やヨーヨー釣り、手作りの魚釣りゲームを行い、屋台風の食事や駄菓子で楽しみました。
9月	敬老祝賀会	家族から寄せられたメッセージを読み上げ、また、職員からの手作りプレゼントを渡しました。
10月	バーベキュー大会	炭火で焼いたお肉と野菜を皆様で堪能されました。
	大運動会	ショートステイとの合同で、玉入れやボール送りなど競技を行いました。皆様熱中され、接戦となりました。
11月	紅葉見物ツアー	数日、数回にわたり紅葉見物を行いました。
12月	クリスマス会	ビンゴゲームや合唱を行い、皆様で盛り上がり、賑やかな会となりました。
1月	初詣	箭幹八幡宮へ初詣に出掛けました。一人ひとり願いを込めてお参りをしました。
2月	節分祭	鬼に見立てた紙人形に向かって「鬼は外、福は内！」と豆まきをしました。
3月	ひな祭り	ひな祭りの唄を歌い、おやつには、ひなあられと甘酒で乾杯しました。



紫陽花見物ツアー



敬老会



ショートステイとの合同大運動会



竹灯籠作成

5. 防災防火計画

実施日	実施内容	参加人数
9月26日 ～29日	消火器訓練	11名
3月21日	防火点検	1名

毎日、定時での点検及び定期的にコンセント等の確認を行いました。

6. 感染症対策

職員につきましては、通勤時から感染症予防に努め、休日も体を休めるなど、体調管理に努めました。

事業所での換気や消毒等、感染症予防の取り組みをおこない、予防に努めました。

7. 総括

コロナ禍での生活も3年目になり、職員の出勤時の体温測定や手指消毒・マスク着用、来園者の体温測定、外出時の3密に注意するなどの感染症対策を行いました。ご入居者の感染は7月と2023年1月に発生しています。

10月には、バーベキュー、11月には紅葉見物、日常では外気浴など、外出が少ない分、中庭で季節を感じ、気分転換をすることが出来ました。

行事の開催は、ご入居者と職員で行いました。クリスマス会は、クリスマスランチプレートやケーキバイキングを企画し、ご入居者から好評をいただきました。

また、日々の生活の中に「ぬくもり体操」を取り込み、どの職員も簡単にご入居者の前で、体操を実施し、ご入居者も積極的に体操に参加されるようになりました。月1回、体力測定をすることで、ご入居者一人ひとりの体力レベルを把握する事が出来ました。

対面するのが難しい今、ご家族より折に触れてご入居者に手紙やお菓子等が届きました。ご家族の近況を知ることができ、ご入居者からは「安心した」との声もありました。従来とは違うご家族とのコミュニケーションを図り、信頼を深めました。

そして、地域との新しいかたちでの交流を深めるため、ポチ袋や鶴の箸袋・楊枝入れをお祭りや地域の子供食堂の返礼品として提供しました。また、スターバックスに飾る竹灯籠のニス塗り、ゼルビー君との交流会など、ご入居者が地域の一員として暮らしているという実感がもてるよう、社会参加の機会をサポートして参りました。

共用型認知症対応型通所介護におきましては、お問い合わせや施設見学者に共用型認知症対応型通所介護を説明しました。また、現在使用しているご案内(チラシ)のサービス内容や利用状況表を定期的に見直し、ぬくもり便りを季節ごとに作成すると共に、営業活動を行い、新規ご利用者確保に努めました。

高齢者デイサービスセンターぬくもりの園 事業報告書

(地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護)

1. 重点目標

(1) 地域密着型通所介護

ア. 感染症予防策を継続し、安定した運営が行えるよう努めます。

マスクの着用、手指消毒など、ご利用者の皆様にもご協力いただきながら感染予防に努めてまいりました。また、送迎車両の消毒やご利用者のソーシャルディスタンスを確保しながらサービスを提供し、感染予防対策を実施致しました。コロナ感染症情報に注視しながら、定時で行っていた消毒液の噴霧回数の軽減、アクリル板の撤去を行ったところ、職員を介してのコミュニケーションに加え、ご利用者同士の会話、笑顔がより多く見受けられるようになりました。

イ. ご利用者の利用目的を明確にし、必要なサービスを提供します。

ご利用者との日常会話の中で、趣味趣向を引き出し、新たな情報はアセスメントシートに落とし込み、職員間で情報を共有しサービスを提供できるよう努めてまいりました。ご紹介いただいている居宅介護支援事業所の担当ケアマネジャーへの情報提供として、カナミックネットワークシステムを活用し、毎月、ご利用中のご様子をお知らせすることで、信頼関係が構築できるようになりました。

(2) 認知症対応型通所介護

ア. 感染症予防策を徹底し、安定した運営が行えるよう努めます

マスクの着用、手指消毒など、ご利用者の皆様にもご協力いただきながら感染予防に努めてまいりました。また、送迎車両の消毒やご利用者のソーシャルディスタンスを確保しながら、サービスを提供し感染予防対策を実施致しました。コロナ感染症情報に注視しながら、定時で行っていた消毒液の噴霧回数の軽減、アクリル板の撤去を行ったところ、職員を介してのコミュニケーションに加え、ご利用者同士の会話、笑顔がより多く見受けられるようになりました。

イ. ご利用者の利用目的を明確にし、必要なサービスを提供します。

ご利用者との日常会話の中で、趣味趣向を引き出し、新たな情報はアセスメントシートに落とし込み、職員間で情報を共有しサービスを提供できるよう努めてまいりました。また、事業所職員会議内で、認知症に関する研修を実施し、知識向上に努めてまいりました。ご紹介いただいている居宅介護支援事業所の担当ケアマネジャーへの情報提供として、カナミックネットワークシステムを活用し、毎月、ご利用中のご様子をお知らせすることで、信頼関係が構築できるようになりました。

2. 利用者状況

(1) 稼働率

(%)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地域密着	75.0	59.6	60.3	63.8	60.8	55.4
認知症	58.7	57.1	48.7	45.5	50.6	45.5
項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域密着	60.6	70.2	67.3	66.0	72.2	74.4
認知症	45.2	45.2	48.1	50.0	52.8	53.4

地域密着型平均65.4%、認知症対応型平均50.0%でした。

(2) 新規受け入れ

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地域密着	2名	—	—	4名	1名	1名
認知症	—	1名	2名	—	—	—
合計	2名	1名	2名	4名	1名	1名
項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域密着	3名	3名	—	1名	1名	—
認知症	2名	—	1名	1名	2名	1名
合計	5名	3名	1名	2名	3名	1名

計26名の新規利用者の紹介をいただきました。

(3) 登録利用者数（令和5年3月31日現在）

項目	町田市
地域密着	29名
認知症	22名

3. 年間行事

月	行事	内容
4月	お花見	近隣の公園や薬師池公園へ出かけ、満開の桜を見に行きました。
	餃子祭り	ご利用者のリクエストで餃子作りを行いました。丁寧に餡を練り上げ美味しい餃子が完成しました。
5月	身体を動かそう 月間	コロナ禍で不足していた運動を積極的に実施しよう月間として、楽しみながら体を動かすレクリエーションを実践しました。
	散歩へいこう	天気の良い日に、ソーシャルディスタンスを保ちながら薬師池公園へ出かけました。
	コーヒーゼリー を作ろう	「今日のおやつは何にしましょう」と尋ねるとリクエストの多かったコーヒーゼリーを作りました。
6月	昔ながらのカレーライス作り	昔ながらのカレーライスを調理しました。隠し味にインスタントコーヒーなどご利用者からお聞きしながら美味しいカレーライスが完成しました。
	トマトの収穫祭	テラスで育てた「プチトマト」が収穫時期を迎えました。昼食に添えて召し上がりました。
7月	農業体験	近隣の農家さんから「そら豆」種の仕分け依頼がありました。ご利用者の皆様で豆の仕分け作業を昔懐かしい話をしながら行いました。
	ふかし芋を食べよう	今朝採れのジャガイモを入手したので、ふかし芋を作りました。
8月	スイカ割り	新鮮なスイカが手に入り、夏の風物詩「スイカ割り」を開催しました。
	蓮の花見学	近隣の水田へ「蓮の花」を見に出かけました。多くの花が咲いており「きれいだねえ」と感心されておりました。
	瓜の煮込みに 挑戦	近隣の農家さんより巨大な瓜を入手。早速、食べやすい大きさに調理し、煮込みを作りました。
9月	納涼祭	真夏の日差しも落ち着いた頃を見計らい、納涼祭を行いました。浴衣や法被に着替えて太鼓を叩きながらお祭りを楽しみました。
	敬老会	日頃の感謝の気持ちを込めて、食事を松花堂弁当にしました。人生の大先輩を尊敬する大切さを再認識させていただきました。
10月	かぼちゃケーキ を作ろう	旬のかぼちゃを購入し、ハロウィーンにちなんで、甘いケーキを作りました。
	運動会	秋の恒例行事「運動会」を開催しました。普段はお

		見せにならない表情で、一生懸命に身体を動かされる姿が印象的でした。
	鹿沼公園へお散歩	天気の良い昼下がりに、相模原の鹿沼公園へ出かけました。
11月	バーベキュー大会	毎年恒例となったバーベキュー大会を開催しました。お肉やジャガイモ、旬の野菜を炭火でじっくりと焼き上げ、賑やかなひと時をお過ごしになりました。
	ほうれん草の収穫祭	丹精込めて育てたほうれん草が青々と育ちました。頃合いを見て収穫し、昼食で調理しました。
	紅葉見学	紅葉の綺麗な相模原の公園へ出かけました。深く色づいた银杏の葉をじっくりと見学しました。
12月	クリスマス会	季節行事のクリスマス会を開催しました。チキンや色とりどりのケーキをいただきました。
	豚汁作り	寒さ厳しい中で、薪を焚き、釜土で豚汁作りを行いました。あたたかい豚汁を皆さまで召し上がりました。
1月	七草がゆ	7日に七草粥を召し上がりました。七草の由来を皆さまで話し合い、昔話に華が咲きました。
	春菊の収穫祭	丹精込めて育てた春菊の収穫時期になり、お浸しを調理しました。
2月	節分祭	恵方巻に真似て卵を使用した卵恵方巻を調理し、昼食にて召し上がりました。
	せんべい汁を作ろう	青森県ご出身のご利用者に習いながら、青森郷土料理のせんべい汁を作りました。
	ゼルビー君との触れ合い	FC町田ゼルビアのマスコットキャラクター、ゼルビー君が遊びに来てくれました。地域の活性化を目的とした交流に楽しいひと時をお過ごしになりました。
3月	ジャガイモ植え	ぬくもりの園で借りている畑で、ジャガイモ植えをしました。慣れた手つきで作業を行われていました。
	ひな祭り	ひな祭りということで「甘酒」を作りました。懐かしい味で思い出話に花が咲きました。

※各月のお誕生日や、ご利用者のご出身地にちなんだイベント（ご出身地の郷土料理を作る等）を企画、提供しております。



お花見



餃子作り



そら豆の仕分け



納涼祭



ふかし芋作り



じゃが芋植え



ゼルビー君来園



バーベキュー



紅葉見学



春菊収穫



相模原博物館見学



日常1



日常2



日常3

4. 防災防火計画

毎日、定時での点検及び定期的にコンセント等の確認を実施。また、8月に防火担当者指導による消火訓練、3月に避難訓練を実施しました。

5. 総括

2020年1月に日本で最初に新型コロナウイルス感染症が確認されてから、今日まで感染症予防対策を実施した結果、幸いなことに、ご利用者並びに事業所職員の感染確認もされておられません。

職員の出勤時の体温測定、手指消毒、マスク着用はもちろんのこと、ご利用者へも

ご説明を促すとともに定期的な手洗いうがいを実施。Panasonic ジアイーノをフル稼働しながら、定時にて次亜塩素酸を希釈した消毒液を噴霧、換気に注意しながら感染予防に努めてまいりました。コロナウイルス感染情報を注視し、消毒液定時噴霧の間隔を広げながらご利用者へのサービス提供を続けました。

認知症対応型通所介護においては、7月頃より、他界や入院等で例年以上の利用中止に至るご利用者が見受けられ、稼働率が低下致しましたが、年度末に向けて、新規利用者を紹介いただけたことで稼働率53%台へ回復致しました。

カナミックネットワークシステムを活用し、ご利用者のご様子を担当ケアマネジャーへ情報提供を行うこと、また認知症状の重たいご利用者の紹介では、窓口でお断りすることなく、お受入れしたうえで、ご利用いただきながら状態及び状況を把握し、他ご利用者との平等性にも留意しながら、出来る限りの必要なサービスを提供、利用継続に努めております。

地域密着型通所介護も同様に、他界、入院等で利用中止数が、新規利用者紹介数を上回っている状況です。年度末に向けて、体調不良等による利用休みは生じておりますが、入院等による利用中止には至らず、稼働率も74%台となりました。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら市内居宅介護支援事業所へ訪問活動の時間を設け情報配信に努めてまいります。

高齢者ショートステイサービスぬくもりの園 事業報告書

1. 重点目標

(1) 個別での対応やレクリエーションを提供し楽しく過ごしていただく

ご利用者一人ひとりの趣味趣向を確認し編み物や刺繍等の手芸を提供し、個別のレクリエーションを楽しんでいただきました。また、外で過ごすのに気持ちが良い日には中庭で食事やおやつを召し上がっていただき気分転換を図りました。下半期は調理レクリエーションを開催しました。皆様に好評で楽しみながら料理されていました。

(2) 介護ロボットの導入

今年度の導入見送りました。半導体等の高騰により予定価格を大きく上回ってしまう事。また、近年予定していた業者以外でも見守りシステムが開発されており、来年度に再度選定を行い導入に向け検討していきます。

2. 利用者状況

(1) 新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規利用者数	14名	17名	9名	11名	15名	16名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規利用者数	11名	9名	9名	11名	7名	13名

前年度より8名多い142名の新規利用者を紹介いただきました。

(2) 要介護度

	男性	女性	計
要支援1	—	1名	1名
要支援2	2名	2名	4名
要介護1	24名	37名	61名
要介護2	23名	36名	59名

要介護3	30名	37名	67名
要介護4	12名	24名	36名
要介護5	5名	11名	16名
計	96名	148名	244名

(3) 地域

地域	町田市	多摩市	八王子市	稲城市	その他	合計
人数	167名	34名	32名	2名	9名	244名

3. 年間行事

月	行事	内容
4月	お花見	高幡不動へ桜見学に行きました。綺麗に咲いた桜の下で「綺麗な桜ね」と楽しく談笑されていました。
5月	バーベキュー大会	中庭でバーベキューを行いました。ご利用者にも焼くお手伝いをしていただき「いい匂い、おいしそう」と話されていました。
6月	紫陽花見学	麻溝公園に行き色鮮やかに咲いている紫陽花をたくさん見ることができ「本当に綺麗ね」とご利用者同士談笑されていました。
7月	流しそうめん	流しそうめんを用意し、お箸で掬い「流しそうめんは夏を感じるね」と談笑されながら召し上がられていました。
8月	納涼祭	浴衣や法被を着てお神輿を担いだり盆踊りを楽しまれ、夏祭り感じていただきました。
9月	博物館見学	相模原市立博物館へ行きました。マンモスや大鹿の骨や昭和時代の家具など色々な展示物を見て「懐かしい、昔はこれだったね」と若い時を思い出され話をしてくださいました。
10月	秋の運動会	グループホームと合同で運動会を行いました。各チームから代表1名を決め選手宣誓をしていただきました。種目はボール送りや風船バレー、玉入れを行い盛り上がりました。
11月	紅葉見学	薬師池公園に行き紅葉を見学しました。綺麗な紅葉の下でお茶を飲んで記念写真を撮りました。
	花火大会	日が暮れてから中庭にて手持ち花火を行いました。皆様子供の頃を思い出し笑顔が溢れていました。
12月	クリスマス会	牛乳パックをクリスマスツリーに見立てて積んでいくゲームをチーム対抗で行いました。皆様熱心に取り組み盛り上がりしていました。職員がサンタクロースに扮

		しメッセージカードをプレゼントしました。
1月	初詣	近隣の神社へ行き今年一年の祈願をしてきました。福笑いや書初めを行いお正月の雰囲気を楽しんでいました。
2月	節分	職員が鬼に扮し新聞紙で作ったボールを鬼めがけて「鬼は外、福は内」と声をかけて投げさせていただきました。
3月	ひな祭り	ひな壇の前で記念写真を撮り「ひな人形は綺麗でいいわね」と皆様喜ばれていました。



桜見学



中庭での昼食



バーベキュー大会



個別レクリエーション（刺繍）



紫陽花見学



動物広場



流しそうめん



流しそうめん



納涼祭



納涼祭



日光浴



園芸



合同運動会



花火大会



クリスマス会





初詣



書初め



福笑い



節分

防災防火計画

毎日遅番職員にて自主点検を実施しました。9月には防火管理担当者指導による消火訓練を行いました。3月には総合消防訓練を行いました。

5. 総括

6月と7月にはご利用者や職員数名のコロナ感染者が出てしまい、キャンセルや利用受け入れを一時休止した期間がありました。年間新規のご利用者数は142名と前年度より8名多くのご紹介をいただきました。3月は長期利用されている方が特養等の施設入所が決まりキャンセルになった事や、体調不良で緊急搬送された方が入院となりキャンセルになる等稼働率が伸びませんでした。年間平均稼働率は93.7%と目標の平均稼働率88%を達成する事ができました。下半期には調理レクリエーションを初めて開催しました。野菜を切る所から始め最初から最後までご利用者の皆様で作りました。とても好評でしたので来年度もレパトリーを増やして続けていきます。

ショートステイならではのサービスでは夜間の外出イベントとして、3年振りに近隣

の公園で開催された夏祭りに行き夏の雰囲気を楽しんでいただきました。大勢の人がおり、屋台も多く、いい匂いが辺りに漂い「美味しそうね」「凄い賑やかね」と楽しまれていました。

年間通して居室内、リビング内の消毒、及びご利用者並びに職員の手洗い、うがい、手指の消毒、検温、換気を行い感染症拡大防止に努めました。

ご利用者並びにご家族のニーズに応え、また、毎月5・15・25日や空室が目立つ日がある時は早めに空き室状況を各居宅に FAX を送信し、新規利用者の獲得に努めました。ご利用者の趣味などを聞き出来るものは行っていただき、リピーターの確保に繋げていきました。

居宅介護支援事業所ぬくもりの園 事業報告書

1. 重点目標

(1) 要介護受け入れ件数目標 80件/月

年間平均84件/月。新規31名、終了27名。ご逝去、入所で支援終了のケースがありましたが、それを上回る新規のご依頼をいただきました。女性のケアマネジャー希望、要支援者の依頼を受け入れ体制がなく断るケースが多くありました。来年度はケアマネジャーの確保も含め検討致します。

(2) 居宅介護支援事業所の働き方改革

8月に町田市内でもコロナ感染拡大があり、感染予防・拡大防止のためにテレワーク等で対応しました。居宅ケアマネジャーそれぞれにスマートフォンを貸与し、電話連絡、ショートメール、メールを活用し情報共有と業務の効率化を図りました。就労をしているご家族も多く、ショートメールの活用は大変多くの好意的な意見をいただきました。メールでのご家族への情報共有、PDFでの利用票送信があたり前になってきております。

(3) ケアマネジャーの質の向上

自事業所での法人内研修や地域の医療機関や高齢者支援センターが実施する研修にリモート参加しました。3月末に1件、ケアマネジャーの発言、説明不足が主な原因でクレームがありました。ケアマネジャーの対応で直すべき所を認め、謝罪し、丁寧な説明をする事で当居宅の他ケアマネジャーへのケアマネ変更の承諾をいただきました。今回の事例を元に事業所内で事例検討を行い、今後のサービスの質向上に努めます。

2.

(4) 権利擁護

ネグレクト（放任）疑いとケアマネジャーが判断したケースは高齢者支援センタ

ーに相談し、ご利用者宅訪問に高齢者支援センター職員にも同行していただき対応しました。

(5) 医療介護連携の効率化とサービスの質向上

医療介護職との連携をスムーズに行う為、MedicalCareStation や LINEWORKS 等のサービスを活用できるように検討しておりましたが、認知度と利用事業所が少ない為、当居宅全員での活用はできませんでした。現状はスマートフォンのショートメール、メールが一般的になっており、文字での情報のやりとりが「言った、言わない」問題に繋がらず、サービスの質の向上は図れてきています。

2. 利用者状況

(1) 稼働率 年間105%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護者数	82名	86名	83名	85名	84名	84名
要支援者数	5名	5名	5名	5名	5名	4名
職員数	3人	3人	3人	3人	3人	3人
稼働率	103.6%	108.3%	104.8%	107.1%	106.0%	104.8%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護者数	87名	85名	86名	82名	83名	81名
要支援者数	4名	4名	4名	4名	4名	5名
職員数	3人	3人	3人	3人	3人	3人
稼働率	103.6%	108.3%	104.8%	107.1%	106.0%	104.8%

(2) 新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規依頼	2名	6名	2名	2名	2名	3名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規依頼	5名	1名	4名	1名	2名	1名

31名の新規支援の依頼がありました。

(3) 要介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援1	3名	3名	3名	3名	2名	2名
要支援2	2名	2名	2名	2名	2名	2名
要介護1	28名	28名	25名	26名	27名	26名
要介護2	24名	26名	26名	25名	27名	27名
要介護3	11名	12名	13名	13名	13名	13名
要介護4	9名	10名	6名	6名	8名	8名
要介護5	5名	4名	7名	7名	8名	8名
区分変更・ 申請中	5名	6名	6名	8名	2名	2名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	3名	2名	2名	2名	2名	2名
要支援2	1名	2名	2名	2名	2名	3名
要介護1	25名	26名	24名	23名	24名	23名
要介護2	21名	24名	23名	20名	21名	25名
要介護3	15名	16名	16名	20名	20名	21名
要介護4	7名	7名	8名	5名	5名	5名
要介護5	7名	7名	7名	5名	5名	6名
区分変更・ 申請中	12名	7名	8名	11名	8名	1名

要介護度平均値は2.13でした。

内部・外部研修等

月日	研修表題	主催	参加人数
----	------	----	------

5月26日	意思決定支援において考える倫理	町田市ケアマネジャー連絡会	2名
5月27日	認知症の人と家族がともに生きることを支える	居宅内部研修	3名
5月30日	ヒヤリハット提出後の支援センターと居宅介護支援事業所の連携と役割分担	忠生第一高齢者支援センター	3名
7月28日	ケアプランについて	町田市ケアマネジャー連絡会	2名
8月17日	ここが気になる！在宅での心不全治療と管理	みんなの町田クリニック	1名
8月22日	ケアマネジメントに生かす訪問看護の基礎知識	忠生第一高齢者支援センター	1名

月日	研修表題	主催	参加人数
11月24日	給付サプリーについて	町田市ケアマネジャー連絡会	1名
11月29日	倫理及び法令遵守に関する研修	居宅内部研修	3名
3月23日	地域共生社会～障がい福祉の視点と連携～	町田市ケアマネ連絡会	2名

3. 防災・防火計画

(1) 安全対策・備蓄

ご利用者訪問時に、火気管理や家具の転倒防止、食料の備蓄など、安全対策の実施の呼び掛けを行いました。

(2) 連絡体制の整備

災害時連絡体制の整備として、ご利用者緊急連絡先を日頃より確認し更新しました。緊急連絡カードの作成も行っています。

(3) 防災訓練の実施

9月に、法人本部が主催する消火活動体験に全職員が参加し、職員の防災意識の向上に努めました。

4. 総括

新規ご利用者様を30名以上お迎えする中で、ご家族様のスマートフォンやメールの活用が想像以上に進んでいた事で居宅介護支援事業所の業務効率と質を上げる事ができました。ケアプラン情報連携システムが令和5年度からはじまるように、今後も業務の効率化の為にICT活用は必須になると実感しました。ICT化、ペーパーレスが当たり前の中でのリスクマネジメントも随時見直して参ります。

介護保険法に基づく高齢者福祉サービス

1. 重点目標

(1) 月平均目標ご利用者35名・稼働時間200時間

令和4年度結果 月平均31名・稼働時間月平均189時間

月	利用者数（内新規利用者数）	訪問時間数
4	28（1）名	216時間
5	29（2）名	190時間
6	31（2）名	185時間
7	30（2）名	172時間
8	30（2）名	175時間
9	33（2）名	179時間
10	32（4）名	187時間
11	33（2）名	180時間
12	34（3）名	188時間
1	32（2）名	184時間
2	32（2）名	183時間
3	31（1）名	239時間

新しくヘルパーの採用ができた事で、上半期月平均186時間から下半期は年末年始や2月もありましたが月平均193時間の訪問ができ、3月は今年度で一番多い239時間の訪問時間となりました。新規の相談は新規利用者数以上ありますが、以前としてヘルパー不足で受け入れられない状態です。

(2) 人材確保

ハローワークの求人掲載他、成果報酬型の求人広告やWEBの無料広告、紹介センターと幅広く求人をかけていますが、問い合わせ1件、面接・採用0件の状況です。ハローワークや人材開発センター主催の面接会に上半期3回出席も繋がりませんでした。下半期はホームページから問い合わせあり1名の登録ヘルパーを確保する事ができました。

2. 職員の研修・会議

会議・研修日	内 容
5月18日	緊急時の対応について
6月24日	認知症について
7月23日	接遇について
9月23日	接遇について
10月26日	事故防止について
12月27日	プライバシー保護についての研修
1月30日	法令遵守についての研修

3. 防火防災計画

- (1) 利用者宅の安全対策として、落下物、家具などの転倒防止を呼びかけました。
- (2) 防火管理担当者指導による消火訓練を行いました。

4. 総括

4月に常勤ヘルパー1名の退職に伴い、他事業所から職員がヘルプに入り、ご利用者数や稼働時間の減少を最小限にとどめる事ができました。上半期でヘルパーステーションに関わる職員、派遣職員含めコロナ感染者が3名いた事もあり、活動に行けずご利用者にご迷惑をおかけした事がありました。職員が確保できず、派遣職員に頼っていましたが、下半期に登録ヘルパーを1名確保でき、活動時間も徐々に増やす事ができました。令和4年度通し、身体介護の際はご利用者にご了承いただき、職員がフェイスシールドを着用して支援にあたっていました。マスク自由化、感染状況を踏まえ3月からはフェイスシールドなしでの活動に戻っております。

ヘルパーステーションぬくもりの園 上半期事業報告

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス

1. 重点目標

(1) 月平均ご利用者2名・稼働時間10時間

月	利用者数（内新規利用者数）	訪問時間数
4	2（-）名	17時間
5	2（-）名	16時間
6	2（-）名	16時間
7	2（-）名	17時間
8	2（-）名	17時間
9	2（-）名	17時間
10	2（-）名	17時間
11	2（-）名	15時間
12	2（-）名	16時間
1	2（-）名	15時間
2	2（-）名	13時間
3	2（-）名	17時間

ご利用者数、稼働時間数ともに達成することが出来ました。新規問い合わせは定期的にあります、高齢者との訪問介護の兼ね合いも含めてお受けできない状況がつかまりました。

引き続き、新規ご利用者を受け入れる体制づくりを行います。

2. 職員の研修・会議

会議・研修日	内容
5月18日	緊急時の対応について
6月24日	認知症について
7月23日	接遇について
9月23日	接遇について
10月26日	事故防止について
12月27日	プライバシー保護についての研修
1月30日	法令遵守についての研修

3. 防火防災計画

- (1) 利用者宅の安全対策として、落下物、家具などの転倒防止を呼びかけました。
- (2) 防火管理担当者指導による消火訓練を行いました。

4. 総括

4月に常勤ヘルパー1名の退職に伴い、他事業所から職員がヘルプに入り、ご利用者数や稼働時間の減少を最小限にとどめる事ができました。上半期でヘルパーステーションに関わる職員、派遣職員含めコロナ感染者が3名いた事もあり、活動に行けずご利用者にご迷惑をおかけした事がありました。稼働時間は少ないですが、8050問題含め、地域の生活上支援が必要な方々への支援を継続していきます。

介護ステーションぬくもりの園 事業報告書

1. 重点目標

新規事業の開設に向けて

小山田桜台団地は1979年に建設され、賃貸487戸、分譲1,131戸の集合住宅がある地域です。小山田桜台には2020年時点で3,828名が暮らしており、高齢化率は47.1%、1,658人の高齢者が住んでいます。小山田桜台は起伏があり坂の多い地域で、エレベーターのない団地がある地域です。1979年に当時30歳～40歳で小山田桜台団地の分譲住宅に一斉に移り住んだ方々が現在70歳～80歳となっており、2025年以降後期高齢者が増えていく地域です。地域の課題解決に向けて介護保険事業が一助にならないかと地域、自治会、まちづくり協議会、住民主体の団体、市議会議員との対話を繰り返し、新たな事業について検討し、当会の理念を元に一人一人と関係性を築き、本音が言える環境を整えたいという思いから理学療法士が管理者の10名定員の地域密着型通所介護を整備しました。

事業コンセプトとして、“人生100年時代を豊かに生きる” 為に福祉の力で目の前にいる方の力になれるだろうかと7つの柱を立てました。「健康延伸」「仲間、つながり」「お金で困らない」「社会の中で役割がある」「自己選択、自己決定ができる」「自尊心が保たれる」「認知症に対する不安が軽減する」この柱を元に対話を重ね、どんな状態でどんな風に暮らしたいか、生きたいか、最期を迎えるのかをともに向き合うデイサービスでありたいという願いを込めて” 大切=Cherish (チェリッシュ)” という名称となりました。

事業所の指定申請も終え、令和5年4月1日に開所する事になりました。

半年に及ぶ営業活動もあり、内覧会では70名以上の方が訪れ、関心の高さがうかがえました。

2. 感染症対策

コロナウイルス等、感染症の流行情報には十分注視し、除菌やマスクを改めて意識して、来園の際には入り口にて手の消毒や検温をしていただきました。備蓄含め感染予防、拡大防止に努めました。また、来訪者や職員の健康状態も踏まえ柔軟に対応します。

3. 総括

令和4年度はじめには新規事業の検討の目標だった所からキーパーソンの理学療法士が入職した事により、現実化にむけて動きはじめ、人ありきの事業だと実感しました。地域の方々とコミュニケーションをとり、イベントを一緒に行ってきた事もあり、新規事業の事をご説明した際に快諾していただき、応援して下さる方が多く、地域の方々の理解も得られました。当会の理念である“地域の中で安心した生活を”送る為に既存のぬくもりの園デイサービスと協同しながら、ニーズや目標別によって使い分けていただけるように法人内での情報共有と共にサービスの質向上に向けて切磋琢磨して参ります。

サービス付き高齢者向け住宅 清住の杜町田

1. 重点目標

(1) 新規ご入居者の獲得

検索サイトの情報を定期的に更新、施設紹介センターに対し、パンフレット資料の郵送、ファックス、電話での案内を実施しました。ホームページを見た方や紹介センターの照会からのお問合せや見学が多く、その結果、25件の見学から、8戸9名の入居がありました。

(2) 楽しみのある生活

ご家族と一緒に外出される機会も増え、徐々にコロナ前の生活に戻ってきており、「久しぶりに孫に会える」と喜ばれている方もいらっしゃいました。

住宅内では、感染症予防を行いながら映画鑑賞会やご入居者同士の交流の場として1階、2階食堂を開放しました。

また、感染予防を行いながら、午前、午後と1日2回ラジオ体操を流し、廊下や居室内で皆様体を動かされました。



映画鑑賞会

(3) 環境づくり

ご入居者とのコミュニケーションを大切にし、生活状況に変化が見られた際は、お電話やお手紙で連帯保証人様へお知らせしました。また、お困り事があった際は、ご入居者、連帯保証人様と一緒に考え、状況に応じた有料サービスのご提案をしました。

感染予防を行いながら、ご入居者同士の交流の場を提供しました。

2. 利用者状況

(1) 入戸数

(末日で表示)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入戸数	34戸	33戸	33戸	32戸	32戸	32戸
新規戸数	—	—	1戸	—	—	1戸
退去戸数	—	1戸	1戸	1戸	—	1戸
稼働率	100%	97%	97%	94.1%	94.1%	94.1%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入戸数	31戸	32戸	33戸	33戸	31戸	32戸
新規戸数	1戸	1戸	1戸	1戸	—	2戸
退去戸数	2戸	—	—	1戸	2戸	1戸
稼働率	91.1%	94.1%	97%	97.0%	91.1%	94.1%

お問い合わせからご入居まで1年程の期間じっくりと検討されてからお住まいになられた方や遠方からの呼び寄せの方もいました。

(2) 入居者数

(末日で表示)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	36名	35名	35名	34名	34名	34名
新規入居	—	—	1名	—	—	1名
退去者	—	1名	1名	1名	—	1名
稼働率	105%	102%	102%	100%	100%	100%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	33名	34名	35名	34名	34名	34名
新規入居	1名	1名	1名	1名	—	3名
退去者	2名	—	—	2名	1名	1名
稼働率	97%	100%	102%	100%	97%	102%

紹介センター、ホームページやブログ、検索サイトをご覧になられてから、お問合せやご見学に来られる方がいました。

(3) 問合せ媒体

ホームページ	紹介センター	チラシ	検索サイト	居宅事業所	その他
25件	23件	—	55件	3件	7件

(4) 見学者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3件	2件	1件	2件	—	3件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3件	4件	2件	—	3件	2件

(5) 契約媒体

ホームページ	紹介センター	チラシ・有料広告	居宅事業所	その他
—	2件	—	—	6件

(6) 居住地域

地域	世田谷区	小金井市	町田市	八王子市
人数	1名	2名	17名	1名

地域	横浜市	相模原市	厚木市	川崎市
人数	3名	1名	1名	3名

地域	埼玉県	山梨県	長野県	群馬県
人数	1名	1名	1名	1名

地域	京都府	大阪府
人数	1名	1名

遠方からの呼び寄せの方と自然豊かな環境を気に入られた方の入居が多かったです。

3. 行事

(1) ウェルカム・サービス

ご入居時よりお使いいただけるトイレトペーパー、箱ティッシュのうちお好きな方を選んでいただきプレゼントしました。トイレトペーパーを選ばれる方が多かったです。

(2) 交流会

1階食堂にて定期的にお茶会を開催し、ご入居者同士の交流を深めていただいておりますが、コロナ感染予防の為、一時中止とさせていただきます。代わりに少人数での集まりの際は、飲み物を提供。玄関前のベンチを活用し交流を深めていただきました。また、今年初めて運動会を開催しました。ストラックアウトや玉入れを行い得点別に景品を用意しました。さらに、FC町田ゼルビアのマスコットキャラクター「ゼルビーくん」が遊びに来てくれました。記念写真をみんなで撮りました。



食後の団欒



アニマルセラピー



運動会



ゼルビー君が遊びに来た

(3) 季節の行事

5月	筍御膳	近隣の竹林から職員が収穫した筍を、筍ご飯にして提供しました。
6月	流しそうめん	1階食堂内で流しそうめんを行いました。
7月	七夕飾り	1階のサロンに笹を飾りました。
9月	敬老御膳	敬老御膳を召し上がっていただきました。
12月	クリスマス	ケーキを召し上がっていただきました。
1月	お正月	おせち料理を召し上がっていただきました。

(運動会は行事としてではなく交流会で行っているので行事にはいれません)



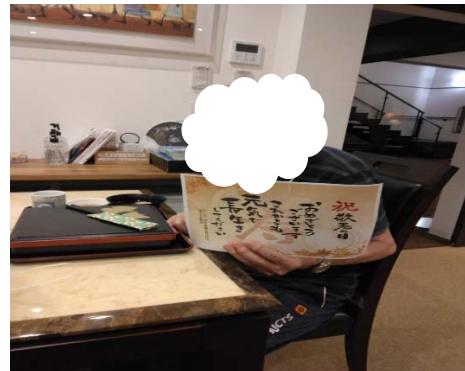
筍御膳



流しそうめん



七夕飾り



敬老会御膳



クリスマス



お正月

(4) 毎月の行事

バイキング食 感染予防として、数種類のメニューからお好きな「おかず」を選んでいただき召し上がっていただきました。



(5) お買い物ツアー

ご入居者アンケートをもとに、多くのご要望があったお買い物ツアーを第2・第4水曜に実施してはりましたがご利用がありませんでした。

感染症予防の為、外出を控えているご入居者が多く、移動コンビニ、移動パン屋を利用されました。



移動パン屋にてお買い物



移動コンビニにてお買い物

4. 地域交流スペースの活用

建物1階にある地域交流スペースで、毎月第2・第4水曜日に移動コンビニを実施し、お住まいの皆さま同士の交流の場として活用しました。また、地域サロンも開催され、地域のかたと交流を持つご入居者もいました。久しぶりの開催に皆様喜ばれておりました。

感染症予防としまして入室時には手指消毒を行っていただきました。





地域サロンの様子

5. 特殊浴槽等の整備

居室の浴槽では入浴が困難なご入居者に対し、対応が出来るよう職員が特殊浴槽の点検をしております。



特殊浴槽

6. 防災防火計画

上半期は館内に設置してある消火器の場所確認、備品の確認を行いました。また、防火管理者指導による消火訓練を行いました。下半期は、避難訓練を行いご入居者に避難経路を確認していただきました。その後、1階の食堂に集まっていただき、折りたたみヘルメットの説明と避難時の注意点を話しました。



7. 感染症対策

コロナ感染症予防として、館内の換気、1日5回 廊下、手摺、エレベーター内と触れる所をアルコールで消毒をしました。食堂内の密を避ける為に、座席数を減らし換気をし、お食事を召し上がっていただきました。

8. 総括

検索サイトの情報を定期的に更新、施設紹介センターへパンフレットの送付、営業活動を継続的に実施しました。結果25件の施設見学から、新規ご入居者を8戸9名お迎えすることができました。有料老人ホームや特別養護老人ホームへの入居により10戸10名の退居者もあり、3月末の入居者は32戸35名となりました。

日々ご入居者及び連帯保証人様とのコミュニケーションを大切にし、ご入居者の体調に変化がみられた際は、連帯保証人様への連絡と迅速、丁寧な対応を心がけました。また、お困り事が起こった際は、ご本人、連帯保証人様に有料サービスのご提案を行いました。その時々々の状態に応じたお手伝いが出来ればと思っております。

地域の子供との七夕飾りは感染予防を行いながら交流をしていただきました。ご入居者同士で少人数集まり談笑やゲームを行われている際は、飲み物を提供しご入居者同士、交流を深められていました。

FC 町田ゼルビアのマスコットキャラクター「ゼルビーくん」が遊びに来てくれた際、「こんな経験できないから嬉しい」と喜ばれ、皆で写真を撮りました。

地域の方の開催する地域サロンは感染症予防を行い徐々に開催が始められ、参加されるご入居者もお入り、地域の方と交流しました。

連帯保証人様と外出をされるご入居者も増えており、「ひ孫に会ってきたよ」「久しぶりの外食で皆と会える」と喜ばれていました。ご家族も徐々に遊びに来られる様になりお部屋から賑やかな声が聞こえてくる事が増えました。雨の日は筋力低下を懸念し館内での歩行運動、体操など体を動かして筋力の維持を行っていました。体を動かすことを積極的に行っている為、今年度初めての運動会を行いました。職員手作りのストラックアウトや玉入れで得点を競い最後に景品を持ち帰って頂きました。

皆様の楽しみのひとつである食事イベントは、メニュー表から選んでいただくバイキングやホットプレートを活用し温かい食事を召し上がっていただきました。いずれも感染予防に工夫しながら行いました。

また、春の筍、夏のそうめん、秋の敬老御膳、さつま芋御膳とお重にのせた季節の御膳は、お重を開けた時の楽しみがあり好評でしたので、今後も続けて行きます。

引き続き新規ご入居者の受け入れ促進を図るため、引き続き、施設紹介センターへのパンフレットの送付、ファックス営業を継続するとともに、新規ご入居者獲得に努めます。また、お住まいになられているご入居者がここに移り住んで良かったと思っただけのような行事を、感染症予防を行いながら企画していきます。



社会福祉法人 嘉祥会

〒194-0202 東京都町田市下小山田町 2729-2